

ケイティ・コールの

整理術 (最終回)

クリスマスの飾りつけと収納

あなたの家をイエスさまを伝える場に

前は、毎日の暮らし方を整え、無駄な時間を省くこと、スケジュールを管理し、もつと家族や友だちと多くの時間を過ごすことができるようにすることを話しました。

では、訪れてくれた方々はあなたの家をどのように感じるでしょうか。安らぎを覚えるでしょうか。イエスさまがあなたの家にいらつしやることが分かるでしょうか。

このテーマで「整理術」の最終回といたします。

●あかしのきつかけに

多くのクリスチャンは、福音を伝えたいとは願いますが、「どう話したらいいか分からない」、「きつかけがない」と言います。

一番簡単なのは、玄関のドアを開けた時にあなたの信仰を表すものが目に入るようにすることです。

もし人が来たがるような居心地よい家を用意しているとすれば、あなたはすでに、自分の信仰を自然にあかしの第一歩を踏み出していることになりす。みことば入りのカレンダーを壁にかけるとか、興味を引くような飾りをテーブルに置くこと、それがきつかけになって、作った人のこと、またその意味や由来を話せます。

私の友人に、家族やお客さんの興味をひいて話題を引き出せるように、時間をかけて家を飾る人たちがいます。その中の二人は、季節毎に家じゅうの飾りを取り替えるそうです。

雪の季節に冬の絵が飾られている家を訪ねるのは、楽しいものです。秋に色とりどりの紅葉の美しい絵や置物があるのを見るのもそうです。

訪問したときに、目を引くものやそれにまつわる話を聞きたくなるものがたくさんあると、自然に会話ははずみます。クリスチャンなら、十字架や聖書に關係するものを飾っておき、信仰について話しやすい「きつかけ」を意図的に用意しておきましょう。

また別の友人は、とても創造的でもてなす賜物があり、その秘訣を教

えて欲しいと言われるそうです。それで最近、家庭での祝日の祝い方と飾り付けをネット上で公開しました。

まだ日が浅いので一部は英語ですが、ぜひご覧ください。(AMY'S FREE IDEAS) <http://amysfreeideas.com/Japanese/4840943A9CC9-424E-A940-692F6671DA84.html>

イースターを始めとしたキリスト教の祝日の飾りもあり、彼女のアイデアには驚きます。子ども向けに、費用のかからない工作も教えています。

私も、人々が訪ねてくれた時に居心地が良い家にするよう努めています。おもしろくて会話を促すようなものを家の外や内の壁に飾ります。と言っても、まめに飾りを取り替えるほうではありませんが……。

●クリスマスの飾りつけ

でも、クリスマスシーズンだけは違います。みんなが大好きなクリスマスは、イエスさまのことを話す絶好の時ですからね。

ほとんどの日本人はクリスマスに、クリスマスソング、電飾などの飾り、サンタクロース、フライドチキン、クリスマスケーキなどを用意して楽

しみますが、本当の意味を知っている人は少ないのです。

もちろん、シーズンの飾りをすれば気分も盛り上がりす。一度にたくさん買わなくても、小さなものから始めて毎年少しずつ買えばいいのです。中心は、降誕のセットー赤ちゃんのイエスさま、マリヤ、ヨセフ、動物たち、羊飼、東方の博士たち、天使などの置物です。

まだ小さい子どもがいるなら、壊れにくいものを用意して子どもが触わって遊べるようにしましょう。子どもは何でも手にとつて動かしたり、動物に話しをさせ、赤ちゃんのイエスさまを牛に乗せたりしますから、子どもが楽しめるものにします。

降誕セットが触つて楽しめるものなら、子どもたちは、遊びながら疑問に思ったことを尋ねるし、イエスさまについて楽しく話し、さらにお祝いするのはイエスさまのお誕生なのだと思ひます。

もし、セットが壊れやすい陶磁器だけで、いつも「さわっちゃダメ!」「気をつけて!」などと言っていたなら、イエスさまは親しみ深い方だと教えるのは難しいでしょう。(以下略)